

令和7年1月31日

内子町環境マネジメント推進本部長
内子町長 小野植 正 久 様

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 多比良康彦
副主任監査員 小野里枝美
副主任監査員 片倉隆光

環境監査報告書

令和6年度うちエコ監査の結果について、以下のとおり報告します。

1. 監査日程 推進本部・事務局：令和7年1月14日（火）
実行部門等：令和7年1月29日（水）・1月30日（木）
全体協議：令和7年1月31日（金）
2. 監査対象 環境マネジメント推進本部および事務局
実行部門等（別紙）
3. 監査方法 監査員による聞き取り及び現場確認
4. 監査内容 環境基本計画（後期計画）にかかる目標の達成見込み
エコオフィスの取り組み状況
町民等との連携および職員の環境意識の醸成 など

(1) 総合所見

令和6年度のうちエコ監査は、推進本部・実行部門15部署・事務局、計17の部署等を対象に実施しました。

昨年度は監査時間にも限りがあり一部項目で十分に聞き取りが出来なかったことから監査時間を昨年よりやや延長し全項目、また一般職員への聞き取りも十分に行うことができたと思います。対象部署等の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

評価の方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について実行部門においては、☆（特に優れた取り組み）◎（良好な取り組み）○（取り組んでいる）△（改善要望事項）×（勧告事項）の5段階で判断しました。その結果、☆3個、◎18個、△・×0個となりました。

実行部門においてマイナス評価が無いのは令和2年以降初のことで、うちエコ活動の広がりが見て取れる結果となりました。

その中でも「☆」となった部署については、公共施設発のZEB化を行う、部署を飛び出し地域や周辺環境の継続的美化に努めるなど顕著な取り組みが見られました。

他方で電気使用量等、昨年度に比べ利用量が増えているものもいくつか見られました。しかしどの部署においても増加の原因をしっかりと把握しており、その原因もやむを得ないものであること、そのような中でも少しでも削減できるよう取り組んでおり、利用量が増えてはいるもののマイナス評価とは判断しませんでした。

また、2050年の脱炭素社会実現を目指すという国の方針を達成するにあたっては行政だけが行動を起こしても到底達成できるものではありません。事業所、町民一丸となって取り組むことではじめて達成できるものと考えます。事務局においてはうちエコ活動の情報発信により力を入れて頂き、行政内の取り組みから内子町全体の取り組みとなるよう努めていきたいと思っております。

エコロジータウン内子の実現に向けて、今後もより一層の活動を期待するとともに、官民共同でのうちエコ活動の推進を期待します。

(2) 評価結果

① 推進本部

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	町長・副町長・教育長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMS の運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進			1				
5	副町長／エコオフィスの推進			1				
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）			1				
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計			1	6				
達 成 率（○以上の項目／全7問）		100%						

②実行部門

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	後期個別政策シートの内容と進捗状況		1	7			7	
2	独自目標の内容と達成見込、その改善		6	9				
3	エコオフィスの推進（光熱水量全般）			14			1	
4	エコオフィスの推進（グリーン購入）			15				
5	町民や事業者等との連携		7	8				
6	公共事業における環境配慮	1	1	2			11	
7	職場での情報共有	1		14				
8	全般（その他取り組みの工夫）	1	2	11			1	
9	ゴミの削減について						15	
10	地域環境への関心						15	
合 計		3	17	80			50	
達 成 率（○以上の項目／全10問×18部署） ※該当なし項目（—）を除く		100%						

③事務局

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修			1				

3	首長との協議		1				
4	目標達成状況の公開			1			
5	指摘事項の改善			1			
6	全般（取り組みの工夫・改善）		1				
7	システム全般（うちエコの運用）			1			
8	システム全般（監査の工夫・改善）			1			
9	システム全般（監査の評価）			1			
10	システム全般（監査の報告）			1			
合 計			2	7	1		
達成率（○以上の項目／全10問） ※該当なし項目（－）を除く		100%					

（3）個別所見

① 特に優れた取り組み（☆）

部署名	設問	評価理由
大瀬自治センター	6	現在進行形の自治センター建て替えに、ZEB認証（READY）を習得し太陽光発電・蓄電池等を導入。更に電気自動車、充電ステーションを設置し、自然エネルギー活用型の施設を目指し、災害時には避難所として3日間の電気が賅える。
小田小学校	7	学校教育から「内子町がゼロカーボンシティを目指している」ということを学校職員に共有してほしいと通知があった。共有後に事務の方がゼロカーボンシティの取り組みについて情報をまとめフォーカスニュースという広報誌を作成し、教員全員に配布してくれた。またこの広報誌を石畳小学校にも共有している。町外から赴任してきた先生にもエコオフィスの情報を共有できるように今後は事務の方が資料を作成する予定。
子育て支援センター	8	常時服のリユースを行っており、その中で使えない服は民間の衣類回収BOXやNPO法人環境NPOサン・ラブに持っていき無駄なく活用している。また施設周辺の美化活動にも力を入れており紫陽花の世話やゴミ掃除など毎日の周辺環境美化に努めていた。

② 良好な取り組み (◎)

部署名	設問	評価理由
推進本部	1	<p>コロナ禍の空白の3年間はあったが、この10年間で照明のLED化や電子媒体活用によるコピー用紙の削減などエコに配慮した様々な取り組みによるCO2排出量の削減、学校での環境教育などが着実に進んでおり、近年ではゼロカーボンシティ宣言、地元材利用のバイオマス発電や太陽光発電などの自然エネルギーの活用、EV車の導入、公共施設のZEB認証などもある。</p> <p>合わせて行政・地域・民間の協働も少しずつ成果が表れてきたように思われる。ゼロカーボンシティに向けての課題はまだあり、世界情勢や気候変動など厳しい現実問題はありますが、エコロジータウン内子として、今後10年の第3次環境基本計画に大いに期待したい。</p>
総務課	2	<p>集会所の管理者に環境配慮の取り組みを啓発し、1ヶ所LEDに取り換えていた。集会所の数が多いため密な連絡は難しい状況下で成果を出せていた。</p>
大瀬自治センター	1	<p>エコセミナー開催6回目標のところ、すでに10回開催、さらに3月にもう1回開催予定と目標より大きく達成している。</p> <p>エコセミナー実行委員会を立ち上げ、そこに保護者も参加してもらい、親子で楽しめるように工夫されている。</p> <p>内容も川登いかだ流し、小田深山スキー、池田地区での生物観察会、小田川での生物観察会、からりでの手打ちうどんと竈だきご飯体験など体験型のものが多く人気も高い。</p>
農林振興課	5	<p>今年から取り組みはじめた中学生対象の林業研修(リモート研修)が実施できており、次年度もすでに3件の予約が入っている。今後の更なる展開に期待したい。林業農業の担い手を育てるための活動(内子フェアへの参加)も行っており、町内外を問わず農林業に興味を持ってもらうための取り組みをしている。</p>

小田支所	7	植林は住民と一緒に協力し一般の方が参加できるようにしている。住民と日ごろより密接に関わっているため、窓口で住民にイベントの周知をしている。
子育て支援センター	2	施設周辺の清掃活動の目標週 3 回以上に対し毎日の実施などその他の項目においても目標以上の取り組みが行われていた。
	5	リユースを月一回（健診のときやプレママ教室、環境政策室のイベント協力で開催）梱包材を持ち帰ってもらう。
大瀬小学校	5	地域の方々、農家さん、NPOなどの外部講師と連携して様々な地元密着型の授業を展開し、その様子を学校の広報だけでなく、大瀬自治センターだよりにて隔月で特集を組み、地域全体に広報することも効果的に地域との協働につながっている。家庭数は多くない学校であるにも関わらず、アルミ缶もたくさん集まるのはこうした地域との連絡がうまくいっているからだと感じた。SDG s 教育にもしっかりと取り組まれていて頼もしい。
	8	職員への配布文書、学校へのお知らせ文書などは受け付け印を押したものをデータ化して印刷せずに各人に共有。紙の印刷を最小限に抑えている。集めた落ち葉の腐葉土づくりなど熱心な取り組みがみられた。
石畳小学校	2	休耕田を使用したそば作りや地域環境の美化活動など地域ぐるみで取り組みを行っている。
五十崎小学校	2	地域住民を巻き込んだアルミ缶回収活動、職員会議資料の電子共有、コピー機トレーに常時裏紙セット、児童による学級やプリンターでの植栽など、熱心な取り組みを継続して実践されていた。
小田小学校	2	ゴミ袋の量も数えて把握している。ごみの分別を児童自身がするようにしている。担任の先生が環境についての話題を考え、校長先生が広報を毎日更新している。学校だよりを自治会館に置いてもらっていたり活動をアピールしている。
	4	スマートスクールがすべてグリーン購入になることを理解している。また、まとめて買うなどの工夫もしている。そして梱包材も小学1・2年生の工作でリサイクルしている。
	5	1・2年生は寺村自治会とJAと協力をしてさつまいもの収穫や料理をしている。5・6年生はペレット工場見学に行っていた。

小田小学校	8	<p>校長先生や養護教諭の先生が校内巡回し電気などの無駄がないか確認している。</p> <p>温暖化によって異常気象が増加しており、土砂災害に備えて避難訓練をしている。災害に対する意識・関心が高い。小学校・中学校合同で地元の消防や自治会と協力し避難訓練をしている。</p>
内子中学校	2	<p>目標を把握し、きちんと取り組みができていた。(回収したアルミ缶、ペットボトルキャップの重さなども測定していた)</p> <p>NIE(新聞活用)に力を入れていた(環境に関することについて)</p>
	5	<p>中学生が作った環境に関する新聞記事を伊予銀行に掲示し、町民に見てもらって関心を持ってもらう。今後は他の場所(自治センターなど)にも掲示していきたい。</p>
事務局	3	<p>前年度の数値目標の結果について、以前よりも見やすいように大きくグラフ化され、</p> <p>資料を見る側にとって大変わかりやすくなり、工夫が見られた点を評価する。</p>
	6	<p>公用車におけるEV車の導入、公共施設におけるEV充電設備の充実、大瀬自治センター</p> <p>のZEB(Zero Energy Building)化、役場本庁舎への太陽光発電設置など、現時点では</p> <p>進行中であるものの、脱炭素に向けた取り組みを着実に進めており、成果が見え始めている。</p>

③ 改善要望事項(△)

部署名	設問	評価理由
事務局	4	<p>達成状況の公開については従来通り、行政職員向けについては会議資料および庁内ネットワークでの伝達、町民向けに関してはホームページのみだった。</p> <p>従来通りではあるものの、町民への公開が弱いことや公開の即時性については改善の余地があることから今後の期待を込めて、△と評価した。</p> <p>せっかく結果が見やすくなる工夫がされており、町民にも広く、早く伝わるような公開方法についてご検討いただきたい。</p>

④ 部署別全体評価

部署名	全体評価
推進本部	<p>町の合併当初からエコロジーを掲げて、様々な取り組みをされてきた今、できている部分とそうでない部分がはっきり見えてきたように思われる。人口減少にも直面し、難しい面は多々あるが、見えてきた課題に対してしっかり対処しつつ、今後も環境への取り組みに望んで欲しい。</p> <p>行政・地域・民間の協働も少しずつ進んでいる今、民間や大人に向けてのさらなる環境学習の充実を図り、今後の環境問題を担う人材の育成も大切な課題であると考えている。</p>
総務課	<p>公用車を使用する際には、行先のルートをもっと調べ最短の距離で済むように工夫したり、エアコンの室温を調整するなど、日頃からエコに配慮した取り組みを行っていた。</p>
税務課	<p>公用車で出かける際は事前にルートを確認し最短距離ですむような工夫をされていた。その他個人が家庭での環境教育にも積極的など一人一人の環境意識の高さが見受けられた。</p>
こども支援課	<p>部署内の職員同士の情報伝達が良好に行われており、目標達成に真摯に取り組む、意識の共有から行動の変化につながっていると評価した。</p> <p>全体的に良好であり、グリーンカーテンや断熱材の利用などが評価され、朝夕の水やりなど、日々の積み重ねが見える。子どもたちと共によく勉強していると感じた。ゴミを減らすために皆が努力しておりとても前向きにとらえられている。その一環として職員がペットボトルではなく水筒を持参するなど、環境意識が高い。</p>
大瀬自治センター	<p>令和8年完成の新しい自治センター建設に向けて、環境面からも様々な新しい取り組みをされ努力している。</p> <p>内子町初の公共施設での太陽光パネルと蓄電池の設置による自然エネルギー活用型建設として大いに期待している。</p> <p>今は仮の事務所なので調理実習などができず、来館者に向けての使い捨て食器使用を自粛する独自目標事態が実行されなかったが、おおむね目標も達成されており、職員さん方の環境に対する熱意も素晴らしいと感じた。</p>
農林振興課	<p>後期個別政策シート・独自目標ともに、たくさんの数値目標を掲げておられ、中には達成が難しいものも見受けられたため、◎を付けられないのは残念だが、9割がたの目標を達成されていたことは率直に評価できる。今後、林業や農業の担い手育成がとても大切だと様々な取り組みを始められており、特に中学生の林業研修は素晴らしい取り組みであると感じた。いずれりモートだけでなく、実際に体感できるような取り組みにも期待したい。</p>

<p>学校教育課</p>	<p>環境子ども会議に特に力を入れており、250人の生徒が参加する。会議の内容は、現代の子供の興味・関心が強いと予想されるテーマを選出し、体験学習の内容を充実させるなど子どもたちが楽しみながら学びを深めることができるだろう。また、部活動の地域移行に伴い、スクールバスの燃料使用量が増加しているが、それは当然の結果である。使用量削減に向けて、古い車両の買い替えや、運転手へのエコドライブの推進などの取り組みを行っていた。</p>
<p>小田支所</p>	<p>地元と連携したうえで表面的な緑化ではなく、元々の地元にある木を使用して植樹している。かつ地元の住民と連携し、また一般の住民さんが一緒に植樹できるよう企画している。</p>
<p>子育て支援センター</p>	<p>独自目標を上回る活動が多く見られた。商品を注文した際は業者に梱包材を持って帰ってもらうなど、他では聞かないごみを減らす工夫がされていた。また、子育て支援センターが力を入れているリユースに関しては、子育て支援センター内で提供するだけでなく、保健センターの検診やプレママ教室に出向いたり環境政策室のイベントに協力するなどリユース品を提供する、また使えないリユース品はドラッグストア mac の衣類回収ボックスに持っていったり、サン・ラブに機械について油をふきとる布として提供していたりするなど、事業者や他の部署との連携も見られた。特に職員全員が子育て支援センター周辺を観光客や観光バスが通ることが多いことから観光客が来た時に内子で最初に目に入る場所だと認識されており、常に綺麗にしておきたいという意志が感じられた。看板の横にある紫陽花が咲き終わった後も放置され見栄えが悪く気になるため、町並・地域振興課や地元の人たちに許可を取り、紫陽花の手入れもしていることを聞き、職員全員对环境に対する意識と行動力が非常に高いように感じた。</p>
<p>大瀬小学校</p>	<p>総合学習の地域住民・NPO などとの繋がりがしっかりできている。</p> <p>地域とつながる授業の様子を学校の広報だけでなく、地元自治センターの広報紙でも隔月で大きく取り上げられ、地域と学校とのさらなる良い連携につながっていると感じた。地域の方々も学校行事に関心を持ち、子どもたちも地域行事やお祭りに積極的に参加し、地域との良い関係が結ばれている。</p> <p>独自目標に関してはもう少し工夫がほしいところ。次年度の目標設定に期待したい。</p>
<p>石畳小学校</p>	<p>小規模ながらも、環境教育に積極的に取り組んでいる。地域の人々と連携し、活動が出来ている点が評価される。全体的に優れた取り組みが見られ、日常的な節電などの細やかな取り組み、地域独自の活動を展開している。</p> <p>校長先生の環境への深い理解があり、それがすべての項目の実施に繋がっている。</p>

<p>五十崎小学校</p>	<p>地域ぐるみでのアルミ缶回収や、花づくりや野菜づくりなど、美化委員会を中心に児童主体での環境の取り組みが学校全体で定着していました。</p> <p>児童が作成した掲示に利用者の注意を引く工夫を感じました。アルミ缶置き場には、「ありがとう」などと書かれた児童が作った掲示がたくさんあり、これを見る利用者（住民）のやる気に繋がると思われる。職員室の電気のスイッチの近くにも児童が作った注意喚起の掲示があり、可愛らしさもあって、注意を引く点では大変効果的だと感じた。</p>
<p>小田小学校</p>	<p>地元との密接な関係性があり自治会や住民さんと共同して環境教育に取り組んでいる。自然に恵まれた環境を活かして花や野菜を作っていたり、自然の体験をしている。ホームページを毎日更新していたり、ゼロカーボンシティについての情報を職員がまとめていたりと教員の環境への意識の高さがある。</p>
<p>内子中学校</p>	<p>NIE という新聞を活用した学習では、環境に関するテーマを選ぶ生徒が多く、またそれらの作品を伊予銀行に掲示することで町民に向けて情報を発信していた。生徒の環境への関心が高いことには、総合的な学習等、普段の環境学習が影響していると考えられる。また町外からの職員に対してうちエコに関する研修を行っており、職員、生徒ともに環境保全に対する意識の高さがうかがえた。</p>
<p>小田自治センター</p>	<p>目標に対して順当に取り組みはできている。また現状の把握もしっかりできており、今後の方針が決まっている。地域の環境についても理解できた上で活動している。エアコンの修理に関してもあらゆる方法を考え、かつ今後のことも考慮した上で方法を判断している。</p>
<p>社会福祉協議会</p>	<p>5年ぶりの監査にも関わらず真摯な対応が見られ、今後に期待が持てる。グリーン購入や乗り合わせによる工夫が見られた。一方ゴミの持ち帰りは出来ておらず、職場にゴミ袋があるため捨てても良いという考えは後ろ向きに感じられた。ゴミの持ち帰りなど前向きな努力を期待している。</p> <p>またシルバー人材の方の環境や見栄えへの配慮ある行動は見習うべきと感じた。</p>
<p>事務局</p>	<p>長年継続している取組だが、これまで通りで済ませてしまうのではなく、できるところは少しでも改善していこうという姿勢がうかがえた。</p> <p>一方で、情報公開に関しては、さらに一步進めてほしいという思いから厳しめの評価となった。</p> <p>この取組は、目標への取組状況を確認するとともに、各部署の頑張りを発見したり、確認させていただいた住民監査員や新人職員が学びを得たり、双方でコミュニケーションをとる良い機会でもある。今後より多くの住民を巻き込めるような運用を期待している。</p>

[参考] 対象部署一覧

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	総務課
3		税務課
4		こども支援課
5		大瀬自治センター
6		農林振興課
7		学校教育課
8		小田支所
9		子育て支援センター
10		大瀬小学校
11		石畳小学校
12		五十崎小学校
13		小田小学校
14		内子中学校
15		小田自治センター
16	社会福祉協議会	
17	事務局	環境政策室